



NHK セイズザフューチャーに参加 10月10・11日

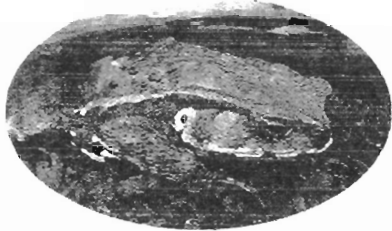
学びの広場の センスオブアース出店に人だかり

—地球上のあらゆるいのちを破壊から守るための国連
生きもの会議とタイアップ—

昨年に引き続き、雨のNHK広場で出店準備、あけて当日2日間は次第に
天気良くなり、たくさんの親子づれが、NHKのスタジオパーク前のセン
スオブアースのブースを訪れてくれました。NHKから、「いつもお客さん
でにぎわっている店ですね。」と、おほめの撮影が行われました。今年の生
きもの多様性を守るテーマに合わせ、**出し物は、「ネイチャーゲーム、「動物
交差点」と、身近な自然のたからもので作る“クラフト作り”**です。自然
のいのちにふれてほしいと、たくさんのドングリや松ぼっくり、はっぱ、小
枝、ひご、粘土、ようじなどを使って、動物やコマ、おもしろい顔の面や大
人用のしおりづくりなど、大好評で、100名以上の方がクラフト体験をし
てくれました。(4ページへ続く)下の映像は絶滅危惧種の一部。



アズマヒキガエル



メダカ



ニホンヤモリ



学校公開中の金沢小・板七小・5年生 食べものはどこから—フードマイレージを学ぶ



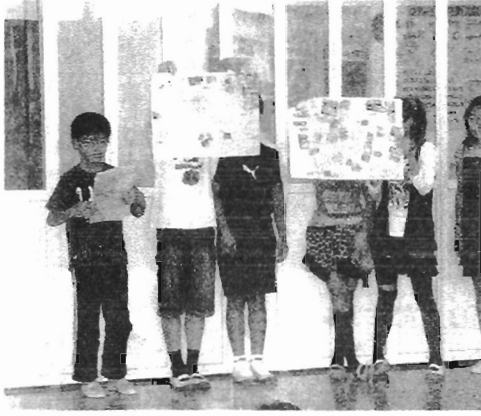
2校の小学校5年生が、それぞれ10月12・13日
に、学校公開参観の保護者が見守る中で、フードマ
イレージを学びました。子どもたちは積極的に自分
たちで作りあげた食料地図から、日本の食料輸入の
現状を読み取り、自分の生活と地球温暖化がつなが
っていることに気付き、自分のライフスタイル改善を

「チラシから食
料問題を学ぶ
ことが出来て、
とてもよい勉
強ですね。」

参観保護者

目指す思いを深くしたようです。

◎「チリから酒やサーモンなどが多くきている。アメリカから肉が多い。」「自分の家で野菜を作ったりしてみようかと思いました。そして少しでも外国からのものではなく、国産のものを買うと心がけたいです。自給自足をめざします。」**金沢小・青山寧波さん**



食料マップからの気づきを堂々発表・金沢小

◎「最初は環境のことに興味はなかったけれど

“フードマイレージ”をやってから、環境のことに興味を持ったので、これからはなるべく国産のものを買いたいです。」**板七小・金山智さん**

◎「自分で野菜を家のベランダで作ってみたい、スーパーで、食料品

は、なるべく国産を買いたいと思いました。これからも食料について考えていきたいです。」**金沢小・大橋拓実さん**



「子どもたちの純粋さ・素直さに感動しました。」

初参加のスタッフ

◎「果物は外国からが多い。日本からは野菜が多い。」「これからは国産のものをなるべく買うようにしてフードマイレージ教室のことをわすれずに生活していきたいと思います。」**板七小・森田伶奈さん**

◎「日本は野菜が多くてアメリカは肉が来ていることが分かった。買い物をするとき、産地を見る。東京から近い方が値段が安いということがすごく印象に残った。」**金沢小・しげなが太さん**

◎「フードマイレージでチラシを切るときに国産も多かったけれど、外国のものも多かった。家でも学校でもご飯を残さないようにして、庭などで野菜を育ててみたい。」**板七小・瀧邊真由さん**

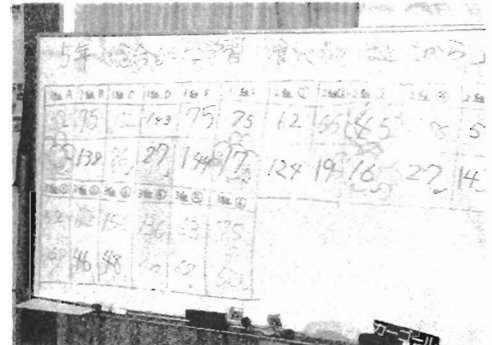
◎「ニュージーランドからはたくさんのキューイフルーツが送られてきている。アメリカからはお肉がたくさん届いている。」「なるべく、地元のものを買いたいと思います。自分の家のベランダにも小さいスペースを見つけて、野菜を育ててみたいと思います。日本の自給率が一番少ないと分かってびっくりしました。」**金沢小・藤本りえさん**

◎「アメリカ（肉・魚）・オーストラリアからきているのが多い。アイスランドは魚が多い。」「フードマイレージをはじめて知った。国産品を買ったりしてフードマイレージを少なくしてCO2を減らしたい。」**板七小・太田さん**

◎「輸入品が安いことが分かりました。」「いままで、フードマイレージのことは考えたことがなかったので、考えたいと思いました。日本の食料自給率が上がってほしいと思います。な



みんなで仕上げた食料マップ・板七小



カレーライス材料買いものゲーム
得点は何の意味？

ぜなら、他の国が輸入できなくなったら、日本は食料がちよっとしかなくなってしまうからです。」**金沢小・大波隆仁さん**

◎「国が遠い所から食べものを輸入するとCO₂がでてくると初めて分かった。国産のものが一番いいと分かった。」**板七小・水谷誠さん**

◎「オーストラリア、アメリカからは肉類が来ている。チリからはサケ、サーモンの魚類が多い、アジアからはそんなに輸入されていない。」「私は輸入をすることで、エネルギーが多くかかるのを知らなかったのは、びっくりしました。そこで、これからは「フードマイレージ」を減らせるよう、家庭栽培をしたり、なるべく「地産地消」を行いたいと思いました。」**金沢小・泉温菜さん**



自分の考えを堂々発表・板七小

◎「外国などから来る牛肉はオーストラリアが多い。」「食品の産地は東京に近いと便利でCO₂をあまり出さないことが印象に残った。産地が地元に近い食品を選んでいきたい。」**板七小・山口陽明さん**

◎「アメリカから肉がたくさん来ていることが多い。」「ゲームをしながら楽しく学習できました給食を残さず食べることや自分の家のベランダに植物を育てたりしたいです。」**金沢小・村山惟子さん**

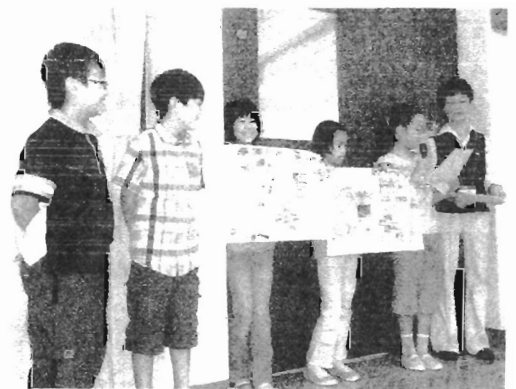
◎「外国からは肉が多かった。」「外国からはあまり聞いたことがない国などからも輸入がたくさんあった。日本で作られていそ

うなものも輸入していたので自分で野菜を作ることをしようと思う。」**板七小・梶原陽奈さん**

◎**金沢小担任・中島美嘉先生**「変化に富んだ学習展開だったため、また、作業内容も新鮮だったため、多くの子がとても意欲的に取り組んでいました。児童の気づきのレベルはそれぞれでしたが、一人ひとりに変化がありました。社会科の学習内容にも関連があり、発達段階にあっていました、中学生にも高校生にも大人にも学んでほしい内容だと思いました。」

◎**板七小担任・田島泉子先生**「社会科の学習とも深くかかわっておりある程度学習したことを基にまとめ・発展的な内容でした。身近な食品を基にしているため、”なるほどそうだったのか。”といった新たな発見や理解をしている様子が表情で感じられました。5年の社会科の学習にしっかりリンクして発達段階としてぴったりの内容です。」

◎**初参加スタッフ・社会人石井由起子さん**「小学五年と一緒にやる作業の楽しさがまず新鮮でした。教えるとか伝えるというスタンスではなく、同じ目線で共同作業をして共に考える。1人1人の真剣さや、自分の考えを仲間に伝えたいのに上手く伝わらないもどかしさを感じとれ愛しく思えてきました。同じ年頃の息子をもつせいでしょうか。本当に貴重な体験でした。振り返りの中で子供達から出てきた意見にも感心しました！CO₂を減らす為に自分にできる事。授業で習った知識を行動に変えて実践していけたら本当に素晴らしいと



食料の輸入依存の発表5年・金沢小

思います。寺田先生が最後におっしゃった言葉『みんなの努力でここから地球が変わります。』子供達が真っ直ぐな心で聞いて誇りを持って行動に移してくれたら嬉しいなあとと思いました。」

◎「SAVE THE FUTURE が始まってから「こんにちは。クラフト作りませんか?」と声をかけつづけると、足を止めてくれる人・質問してくれる人が出てきました。1時間後にはたくさんのお客さんが見ていってくれました。そのなかで1人の女の子とクラフトを一緒に作りました。わたしはあまり小さな子と接する機会がなくて最初は戸惑ってしまいましたが、その子の素直な反応を見ているうちにわたしまで素直にクラフト作りを楽しめたように感じました。子どもたちと一緒に活動することで同じ視点・気持ちになるという貴重な経験ができました。体験を共有させてくれた女の子に感謝します。」

インターン生・法政大3年・小藪真帆

◎「一日目、多くの子供達がSOEのブースを訪れてくれました。クラフトでは、子供たちの豊かな創造力によって、紙粘土とドングリや枝を組み合わせた力作が次々と生まれていました。動物交差点も楽しんでもらえました。動物図鑑や理科の授業から離れて久しい世代になると、動物の生態について知る機会がなかなかないと改めて思いました。誰でも知っている動物でも、生態について聞かれると意外と説明できなかつたり…。今回の動物交差点では、何人かのお父さんお母さんにも参加していただき、動物について子供たちと一緒に学んでもらうことができたと思います。SAVE THE FUTUREに参加している様々な団体の方とも交流することができ、自らの環境問題に対するモチベーションも上がる機会となりました。」

インターン生・法政大3年・五味希

《2010年東京都の絶滅危惧種追加》レッドリスト掲載種は1998年版では1,303種であったが、2010年版掲載種は1,577種となり274種掲載種増加した。例としてはニリンソウ、オオカミ、ヒバリ、ニホンカナヘビ、ニホンアマガエル、ゲンゴロウ、エゾエンマコオロギ、マジジミなどが上げられる。ヒバリは草地や畑など、大幅に減少した。ニホンヤモリはヤモリが住めるような古い人家が特に区部で減少した。トウキョウダルマガエルは田んぼの耕作放棄による生息地の減少、ウシガエル等による捕食などにより個体数が大幅に減少した。ゲンゴロウは環境省では準絶滅危惧種で都内本土部では既に絶滅したと判断された。メダカは環境省では絶滅危惧Ⅱ類、都内本土部ではより厳しい絶滅危惧Ⅰ類に位置づけられた。

2010年版東京都レッドリスト(本土部)の主なポイント

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUSA/2010/06/DATA/60k6u300.pdf>

● S.O.E. 活動報告 (2010年9月)

日	曜	内容
3	金	教育会一斉B部会オブザーバー参加
4	土	蓮二小芝刈りビオ管理活動
9	木	板橋区環境教育プロ部会出席備
11	土	蓮二小芝刈りビオ管理活動
12	日	SOE 9月号ニュース発行作業
18	土	蓮二小芝刈りビオ管理活動・交流会
26	日	SOEワークショップ授業計画・NHKイベント
27	月	学校関係授業打合せ金沢小三園小上板小(30日まで)

● S.O.E. 活動予定 (2010年10月)

日	曜	内容
4	月	三園小1年授業「秋の自然と遊ぼう」
5	火	板七小4年5年授業下打ち合わせ
9	土	NHKセイブザフューチャー前日準備
10	月	NHKセイブザフューチャー出店(11日まで)
12	火	金沢小5年「食べ物はどこから」出張授業
13	水	板七小5年「食べ物はどこから」出張授業
17	日	10月号ニュース発行・ワークショップ
23	土	日本女子大学日女祭出展(24日まで)
25	月	板七小4年とうふづくり授業
28	木	三園小1年授業 延期日
30	日	荒川クリーンエイドゴミ拾い・観察参加

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6053
e-mail: info@npo-soe.jp url: www.npo-soe.jp